

平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ

コード番号 8886 URL <http://www.woodfriends.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 嘉浩

TEL 052-249-3504

四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	20,630	18.0	566	108.4	340	529.7	154	—
25年5月期第3四半期	17,478	△0.9	271	18.0	54	141.6	△63	—

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 189百万円 (—%) 25年5月期第3四半期 △28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	105.05	—
25年5月期第3四半期	△43.60	—

(注) 当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年5月期第3四半期	26,038	—	4,934	—	18.4	3,262.31
25年5月期	23,527	—	4,818	—	20.0	3,207.32

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 4,786百万円 25年5月期 4,705百万円

(注) 当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産金額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。平成26年5月期(予想)の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,557	9.4	1,343	36.3	899	28.8	526	53.8	358.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益金額については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期3Q	1,480,000 株	25年5月期	1,480,000 株
② 期末自己株式数	26年5月期3Q	12,800 株	25年5月期	12,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期3Q	1,467,200 株	25年5月期3Q	1,455,200 株

(注) 当社は、平成26年3月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成26年1月20日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成26年3月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2．サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3．継続企業の前提に関する重要事象等	3
4．四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における東海地域の経済は、円安の好影響と消費増税前の駆け込み需要により、企業収益や個人消費が改善されましたが、今後、駆け込み需要の反動が予測されており、足下の景気動向には不透明感があると認識しています。

不動産業界においては、名古屋圏において商業地・住宅地ともに地価が上昇し、新設住宅着工戸数についても、消費増税前の駆け込み需要により、新築需要については堅調に推移しました。しかしながら、建築の職人不足や一部の建築資材の供給不足が顕在化して生産現場が混乱し、予定通りに工事を進められない状況も発生してきています。

このような状況下、当グループの主力事業である住宅事業では、外部環境変化への会社対応の遅れにより工事現場に混乱が生じ、計画どおりの生産が行えなくなりました。工期遅れが多発するとともに、職人確保のためのコスト増につながりました。また、集成材製造を行っている岐阜工場におきましても、同様の対応の遅れにより、収益改善が遅れることとなりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

住宅事業

エリアマーケティングを重視した販売活動により、販売戸数は概ね計画どおり進捗しましたが、当第3四半期連結会計期間では、職人コスト等の上昇により利益率が低下しました。売上高は18,203百万円(前年同期比14.7%増)、セグメント利益は665百万円(前年同期比98.9%増)となりました。

AM事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理を行っており、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は1,247百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益は276百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

その他の事業

収益型不動産の運営及び生活関連サービスの提供等を行っております。首都圏で宅地開発販売を行ったことにより、売上高は1,266百万円(前年同期比194.0%増)、セグメント利益は21百万円(前年同期は39百万円の損失)となりました。

以上の結果により、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,630百万円(前年同期比18.0%増)、営業利益は566百万円(前年同期比108.4%増)、経常利益は340百万円(前年同期比529.7%増)、四半期純利益は154百万円(前年同期は63百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

a 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の取得を主な要因として前連結会計年度末と比較して2,511百万円増加し、26,038百万円となりました。

b 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して2,395百万円増加し、21,104百万円となりました。

c 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して116百万円増加し、4,934百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月26日に公表した準耐火建築物の不適合施工について、その改修に係る費用を当期において特別損失として計上する予定ですが、これまでの調査で改修工事が必要であると判明した建物のほとんどにおいて、顧客と施工仕様の詳細を調整し始めたところです。現時点での見積では合理性を欠くとの判断から、今回の決算には織り込んでおりません。また、通期の業績見通しにつきましては、当社は例年、第4四半期の業績が通期に与える影響が大きいことを踏まえ、現在精査中であり、影響が判明し次第、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

- a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。
- b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,228,129	1,971,867
完成工事未収入金	14,772	66,464
売掛金	294,654	441,991
販売用不動産	5,172,270	6,890,762
仕掛販売用不動産	8,444,232	9,576,175
商品及び製品	9,585	58,757
未成工事支出金	2,062,083	2,170,241
原材料	155,581	664,094
仕掛品	112,476	178,384
その他	526,343	620,620
流動資産合計	20,020,128	22,639,359
固定資産		
有形固定資産	2,910,922	2,791,036
無形固定資産	165,468	179,894
投資その他の資産	430,505	428,620
固定資産合計	3,506,897	3,399,552
資産合計	23,527,025	26,038,911
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,670,582	1,342,161
買掛金	369,103	729,218
1年内償還予定の社債	241,800	175,400
短期借入金	9,428,120	11,152,830
1年内返済予定の長期借入金	1,119,594	2,413,744
未払法人税等	264,448	62,834
賞与引当金	-	87,895
完成工事補償引当金	67,100	81,400
その他	1,047,565	818,570
流動負債合計	14,208,316	16,864,054
固定負債		
社債	539,200	451,500
長期借入金	2,664,106	2,558,535
退職給付引当金	4,932	2,433
役員退職慰労引当金	114,000	118,680
資産除去債務	15,430	15,554
その他	1,163,024	1,093,849
固定負債合計	4,500,693	4,240,552
負債合計	18,709,010	21,104,607

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	279,908	279,908
利益剰余金	4,166,923	4,247,688
自己株式	20,879	20,879
株主資本合計	4,705,076	4,785,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	703	622
その他の包括利益累計額合計	703	622
少数株主持分	112,235	147,840
純資産合計	4,818,015	4,934,304
負債純資産合計	23,527,025	26,038,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	17,478,148	20,630,592
売上原価	15,319,570	17,885,188
売上総利益	2,158,577	2,745,404
販売費及び一般管理費	1,886,696	2,178,688
営業利益	271,880	566,715
営業外収益		
受取利息	159	194
受取手数料	13,045	15,551
違約金収入	5,600	-
その他	23,541	13,997
営業外収益合計	42,347	29,743
営業外費用		
支払利息	231,429	243,097
その他	28,709	12,784
営業外費用合計	260,139	255,881
経常利益	54,088	340,576
特別損失		
固定資産売却損	-	43
固定資産除却損	21,411	23
減損損失	14,839	-
出資金評価損	10,000	-
特別損失合計	46,251	66
税金等調整前四半期純利益	7,837	340,509
法人税等	37,864	150,779
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	30,027	189,730
少数株主利益	33,425	35,605
四半期純利益又は四半期純損失()	63,452	154,124

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	30,027	189,730
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,175	81
その他の包括利益合計	1,175	81
四半期包括利益	28,851	189,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,276	154,043
少数株主に係る四半期包括利益	33,425	35,605

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	15,868,608	1,213,244	396,294	17,478,148	-	17,478,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,034	-	34,315	38,350	38,350	-
計	15,872,643	1,213,244	430,610	17,516,498	38,350	17,478,148
セグメント利益 又はセグメント損失()	334,714	269,382	39,801	564,295	292,414	271,880

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益型不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 292,414千円には、セグメント間取引消去38,390千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 330,805千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	18,199,296	1,246,340	1,184,956	20,630,592	-	20,630,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,920	1,475	81,158	86,554	86,554	-
計	18,203,217	1,247,815	1,266,114	20,717,147	86,554	20,630,592
セグメント利益	665,673	276,315	21,909	963,898	397,183	566,715

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益型不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 397,183千円には、セグメント間取引消去17,739千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 414,923千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。